

代 應祚天皇才二の御子出ぬ后ハる機
入姫之大山守の皇子とナリ。應祚天皇
の古時攝政ナリ。仁海朝ヨリテ万民徳ナリ
る。海ナリ。天皇ナルレサをアヒテ弟兄難波
の皇子とナリに位を譲リ。アヒテ位三年た
リ。倭臣アリテ謗言をリ。兄弟不和ナリ。を
ラをアヒテナリ。大山守の皇子ハ。弟ハ。下
ノをアヒテ難波の皇子位ナリ。ナリ。追討使
ナリ。テ。弟ハ。ナリ。ナリ。ナリ。父
應祚天皇ハ。八幡と稱ナリ。ナリ。ナリ。皇

とも又村吏ありきとなりて八幡と云や海
 いやちなり。へーすれさをあふ日十七日なりぬ
 は水縁日も新座座内ともに十七日と云と
 りや血系を今も川系と云留るらんと言
 こ下畧七所の縁記書を添て尚社より細を
 予國史を見て詳きに七所の縁記ハ附會
 の説よりて伝用するに是に徳孝公等は
 ハ名高しといふ（た五史ハ見さると云へり
 板大山守室子 應永天皇の沖村權政た
 といふ事大は誤りなり十代